

## 興戸遺跡 第18次 発掘調査

京田辺市教育委員会

調査地 京田辺市興戸塚ノ本 21-1 他  
 調査期間 平成27年2月9日～平成27年4月16日(予定)  
 調査面積 約450㎡  
 調査原因 宅地造成  
 作業機関 有限会社 京都平安文化財

## 1. はじめに

京田辺市教育委員会は2015年2月9日より京田辺市興戸塚ノ本において発掘調査を実施してまいりました。当該地で宅地造成の計画が持ち上がり、造成工事に先立って2014年11月26日に試掘調査を実施しました。その結果、円筒埴輪などの出土が顕著に認められたこと、小字が塚ノ本であることから、埋没した古墳が存在すると予想され、本調査を実施することとなりました。調査の結果、ここに周濠・葺石・埴輪をもつ古墳時代中期後半の一辺約30mの方墳がかつて存在していたことがわかりました。

## 2. 調査内容

## ○西トレンチ

調査地西側の西トレンチは北を上幅6m、長さ55mのL字形になっています。L字形の角で古墳の北西隅と見られる葺石帯と古墳を囲む周濠(註1)を検出しました。北側の周濠の規模は、南北幅約8mで、深さは約0.7mです。墳丘には約10～30cmの葺石(註2)と呼ばれる石を巡らせていました。石の種類は様々なものがありました。残念ながらこの古墳の主体部(註3)は後世に削られ残っていないと考えられます。周濠などからは、円筒埴輪・形象埴輪が出土しました。この円筒埴輪は、直径約33cm、高さ推定50cm(残存40cm)、厚さは0.8～1.5cm程度であったことがわかりました。表面には埴輪を作る時にできるハケ目と呼ばれる痕や1.5cmほど飛び出した突帯と呼ばれる部分があり、破片を接合した結果3条の突帯がめぐる4段の円筒埴輪であることがわかりました。また周濠の底からはいつの時代のものかよくわかりませんが榎状の木製品も出土しました。全長は約150cm、柄の最大径はおおよそ8cmです。

ほかにトレンチの北端で奈良時代頃の溝(幅約1m、深さ約0.2m)を2条検出しました。

## ○東トレンチ

調査地東側に設定した東トレンチは東西の幅6m、南北の長さ26mになっています。古墳の東辺にあたる、南北方向の葺石帯を検出しました。この遺構は現地表面から約0.6mの深さで検出しました。(現在は墳丘から転落した葺石が並んでいます。)

東西何れのトレンチでも古墳よりも新しい時期の遺構として耕作にともなう鋤あとを検出しました。中世の頃の水田の耕作跡と考えています。今回の調査では、古墳の周濠・奈良時代頃の

溝・中世の水田の耕作跡以外に時期や性格が解る明確な遺構はありませんが、平安時代(10世紀)の土器類がみられ、周辺に何らかの遺構があったことが予想されます。

## 3. まとめ

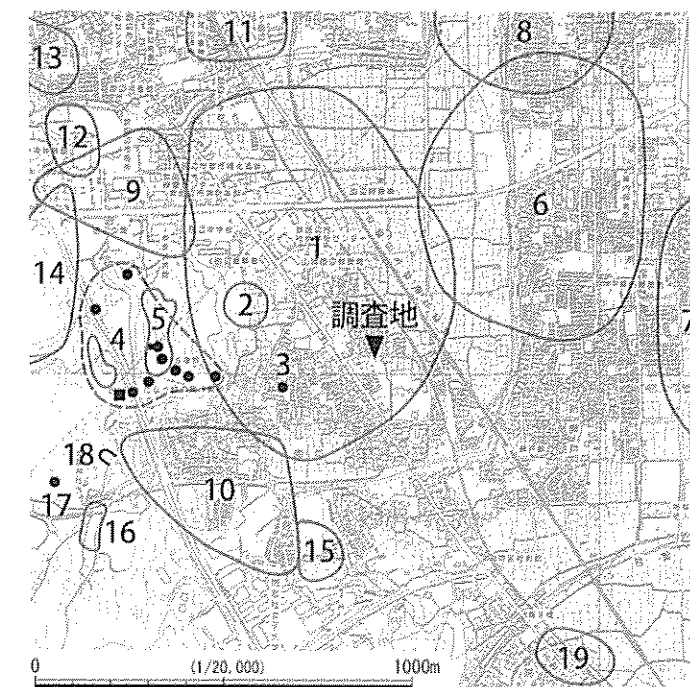
- 1) 本調査地は西が高く東に向かって低くなる緩やかな傾斜をもった地形です。従って遺構の残り方は西の方が良好で、東はわずかな痕跡を残すのみとなっています。
- 2) 西トレンチから東トレンチにかかる、一辺約30mの方墳を検出しました。
  - ・古墳には水をたたえた周濠がありました。
  - ・古墳の墳丘斜面には、人頭大から拳大の石が葺かれていました。
  - ・古墳には円筒埴輪が立て巡らされていました。その埴輪の特徴から、この古墳は5世紀後半頃の古墳とみられます。
 周濠・葺石・埴輪をもつこの古墳は当時のこのあたり一帯を治めていた豪族の墓と考えられます。
 

これまで、この地域では西側の丘陵部に古墳時代前期を中心とする古墳群(興戸古墳群)が存在することは知られていましたが、今回のような低い場所に中期の古墳があったことがわかったことは大きな成果です。
- 3) 古墳の削平は古代以降、おそらく平安時代後期ころではなかったかと想定しています。それ以降は耕作地として利用されてきました。

註1 周濠とは古墳本体の周囲に巡る、水をたたえた堀

註2 古墳の墳丘をおおう外表施設で、石を貼りつけるように葺いたもの

註3 主体部とは葬られた人を安置した場所



1. 興戸遺跡
2. 興戸廃寺跡
3. 郡塚古墳
4. 興戸古墳群
5. 興戸丘陵遺跡
6. 大切遺跡
7. 南垣内遺跡
8. 鍵田遺跡
9. 田辺遺跡
10. 興戸宮ノ前遺跡
11. 河原遺跡
12. 竹ノ脇遺跡
13. ニヶ池遺跡
14. 田辺城跡
15. 興戸城跡
16. 川原谷遺跡
17. 酒壺古墳
18. 興戸宮ノ前竊跡
19. 野神遺跡

周辺遺跡地図(1:20,000)

# 興戸遺跡 第18次 調査区平面図 (1:250)



写真1 西トレンチの古墳北西角

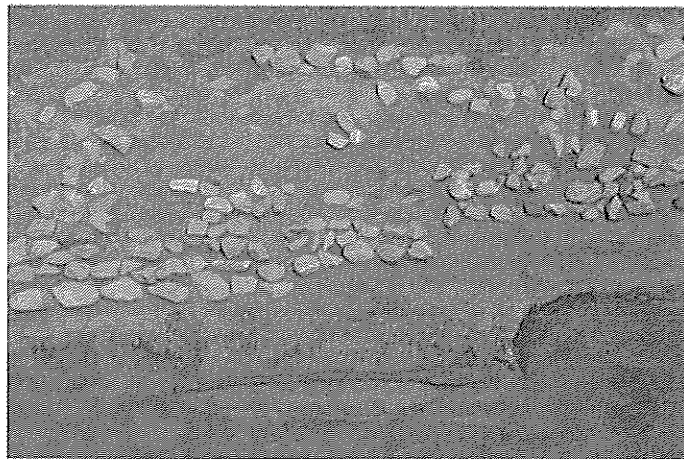


写真2 西トレンチの櫛状木製品、出土状況  
(西から)



写真3 西トレンチの葦石転落状況と周濠

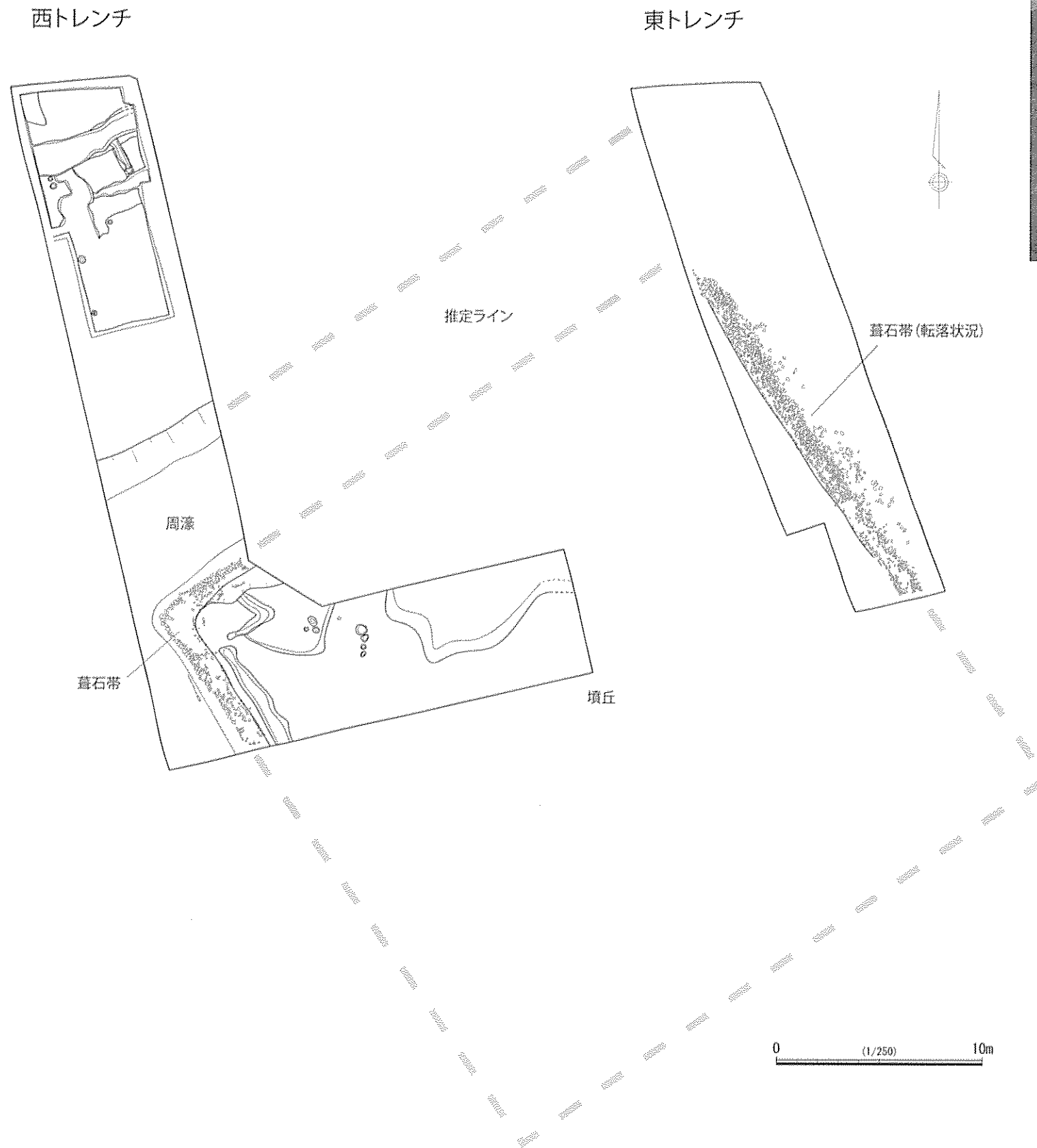


写真4 東トレンチの葦石転落状況

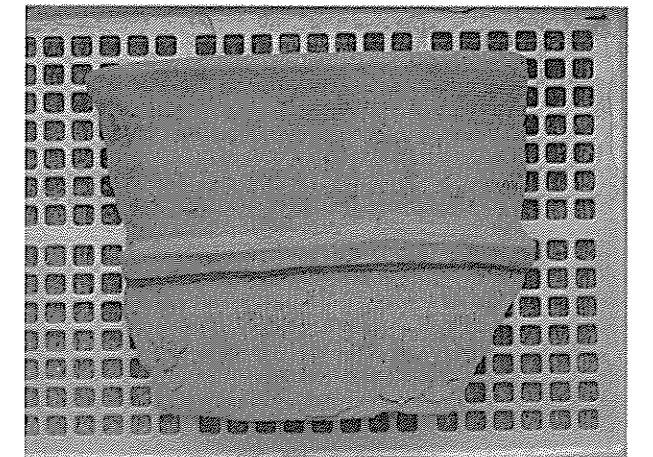


写真5 東トレンチの出土埴輪

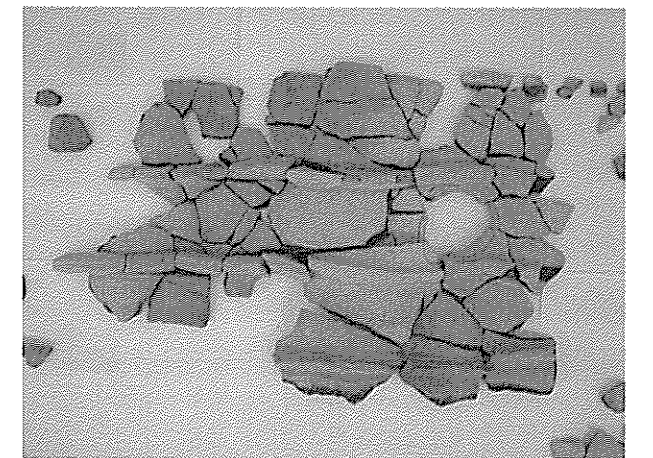


写真6 西トレンチの出土埴輪